

閉塞性睡眠時無呼吸症

～個別的医療で健康寿命の改善を！～

日時 2023年3月11日(土) 17時～18時30分
 会場 兵庫県保険医協会6階会議室 (JR・阪神元町駅東口を南へ徒歩8分)
 +オンライン配信
 講師 神戸市中央区・前田呼吸器科クリニック睡眠医療センター
前田 均 先生 (日本睡眠学会専門医)
 来場定員 20人(事前申し込み順)
 参加費 無料

睡眠呼吸障害、特に閉塞性睡眠時無呼吸症(OSA)は、睡眠中に上気道の虚脱を繰り返す睡眠障害ですが、現状では無呼吸低呼吸指数(AHI)で重症度が判定され、主に持続陽圧呼吸(CPAP)療法や口腔内装置(OA)が選択されます。ところが、近年のレビューでは、AHIの改善で眠気の改善、降圧効果は認められますが、心血管性疾患の予防効果や予後、認知機能の改善効果が示されていません。OSAの治療効果を上げるためには、AHIの改善に加えて、毎晩4時間以上の睡眠時間を確保する必要があり、アドヒアランスの向上・維持を目指した個別的医療へ取り組みが必須です。OSAに対する予後を考慮した効果的な治療の方策を一緒に考えてみましょう。

【前田 記】

*お問い合わせは TEL 078-393-1807 神戸支部担当 小西まで

— 【神戸支部研究会参加申し込み】 FAX 返信：078-393-1820 —

参加申し込み

地区 _____ 医療機関・施設名 _____

代表者お名前 _____ 参加人数 _____ 人 TEL _____

--- ZOOMによるオンライン参加申し込み ---

右の二次元コードもしくは下のアドレスから前日までにご登録をお願いします。

自動返信メールでアクセス方法等をお知らせします。

<https://bit.ly/3H7ZHPA>



兵庫県保険医協会 神戸支部ニュース

363号

2023年2月25日付

発行 兵庫県保険医協会神戸支部
 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
 兵庫県保険医協会 TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

神戸支部会員懇談会「クリニック問題解決座談会」・感想文

貴重な経験と工夫から大いに刺激



12人が参加し、
ざっくばらんに
交流した
医院経営の
工夫や悩みを

神戸支部は1月28日、会員懇談会として「クリニック問題解決座談会」を協会会議室で開催。中央区・武富整形外科院長の武富雅則先生が講師を務め、12人が参加した。林宏明支部幹事が司会を務め、田中孝明支部長が閉会あいさつを行った。参加した岩本善嵩先生の感想を紹介する。

先日「クリニック問題解決座談会」というテーマで武富先生の講演を拝聴させていただきました。武富先生とはコロナ禍の影響もあり長らくお会いできていませんでしたが、ますますバイタリティーに溢れており終始エネルギーにお話をされていました。

講演の中で、武富先生がご自身のクリニックの運営で経験された様々な労務管理の苦難を通じて学ばれた教訓を惜しみなく披露してくださいました。

特に印象に残った学びは、人手不足の中で焦って妥協して雇用すると結果的にさらなる悪循環に陥るといった言葉でした。そうならないように常に余裕を持った人材登用を心がけておられるとのことでした。

(2面につづく)

(1面からのつづき)

労務管理面での学びをどこで得ているかという質問に対して、医療関係だけでは幅が狭く、大企業対象のセミナーだと規模の違いで実際の役に立たないとのことで、居酒屋や美容室などの異業種の小規模のセミナーが最も役立つと教えていただき目から鱗が落ちる思いでした。

武富先生が苦難を乗り越えて前を向いて歩いておられる姿に、私だけでなく参加者全員が大なる刺激を受けたようで、講演後の質疑応答もとても活発でした。

私自身は良好な職場環境の構築に関して十分な勉強もできておらず、思考停止に陥っており、改めて自身を省みるありがたい機会となりました。

武富先生ご自身もまだまだ色々な可能性を見据えて試行錯誤をされている最中とのことですので、数年後にまた第2回の座談会があれば是非とも参加させていただきたいと思います。



医院の活性化のため
ポイントを語った武富先生

【中央区 岩本 善嵩】

市民目線で神戸市政を考える懇談会が総会

空港への600億円を市民のために



市民のための市政実現
を訴えた武村副支部長

神戸支部も参加する「市民目線で神戸市政を考える懇談会」は2月5日、中央区内で第3回総会を開催し、武村義人神戸支部副支部長を代表委員として選出した。総会では、阪神・淡路大震災後、被災者の生活より空港建設を優先した神戸市の姿勢をただし活動してきた「ストップ！神戸空港」の会が、空港の運営権売却を受け2018年に発展的に「市民目線で神戸市政を考える懇談会」へと活動を継承してきたと経過が報告された。

神戸空港国際化のための新ターミナル建設などへの市税投入が打ち出されたことについて、森本真・神戸市会議員（共産）が解説。1998年に神戸空港建設の是非を問う住民投票を求め30万人超の署名が集まったことを受け、神戸市会は、空港建設に市税を一切投入しないとする決議をしていたが、12月議会で「あらゆる財源を積極的に活用」との内容の決議が、自民・公明・維新・立憲民主などにより提出され、可決された。森本議員は「これまでも神戸市は神戸空港について実態とは乖離したバラ色の未来を描いてきた。今回、空港整備にかかる費用は総額600億円と言われ、市民との約束を反故にして莫大な市税を投入するのは問題」とし、市民が声を上げていく重要性を訴えた。

武村先生が閉会あいさつに立ち、「空港への600億円を、市民生活を豊かにする施策に使わせるよう運動を広げよう」と呼びかけた。

兵庫県保険医協会神戸支部 研究会のご案内

新型コロナウイルス感染症 場末の救急病院奮闘記

日時 2023年4月1日(土) 午後5時10分～7時
 会場 兵庫県保険医協会5階会議室 (JR・阪神元町駅東口を南へ徒歩8分)
 +オンライン配信
 講師 神戸掖済会病院
 麻酔科・救急科部長 **馬屋原 拓** 先生
 来場定員 40人(事前申し込み順)
 参加費 無料

神戸掖済会病院は垂水区にある300床ほどの「場末の」、もしくはもう少し綺麗な言い方をすれば「地域密着型の」二次救急病院です。当院も、そして地域の医療をとりまく環境も、新型コロナ禍の3年で大きく変化したと感じています。

この3年間のコロナ禍で病院の中からどのような景色が見えていたのか、そしてコロナ禍を乗り越えてこれから当院が地域の中でどのような役割を担っていきたいと考えているのか、私見を交えてお話ししたいと思います。

【馬屋原 記】

*お問い合わせは TEL 078-393-1807 神戸支部担当 小西・荒川まで

— 【神戸支部研究会参加申し込み】 FAX 返信：078-393-1820 —

参加申し込み

地区 _____ 医療機関・施設名 _____

代表者お名前 _____ 参加人数 _____ 人 TEL _____

--- ZOOMによるオンライン参加申し込み -----

右の二次元コードもしくは下のアドレスから前日までにご登録をお願いします。

自動返信メールでアクセス方法等をお知らせします。

<https://bit.ly/3IqpseA>

